

令和5年度(公第8期) 事業計画

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

公益社団法人知財経営協会 (SIR)

1. 活動方針

本年度も一昨年に定めた中期基盤構築計画に沿って、知財立国を非出願知財面から補完する協会として、出願によらない知財保護活用分野における確固たる権威・ブランド・存在力を高める目標実現に向けて戦略的方途に挑戦する。

新しい試みとして文化発明等の文化財に関する知財保護活用についても試行する。これらにより、我が国の沈滞した無形資産(知財)マネジメント及び国民の知財意識の向上並びに知財制度政策革新として『知財パラダイムシフト』を推進する。

2. 重点施策

(1) 知財に関する調査研究啓発事業(公益目的事業:公1)

今般までの調査研究の結果、我が国の経済沈滞や競争力低下の主要因は、無形資産マネジメント即ち知財マネジメントの問題であることが明らかになった。しかし企業や大学等は、依然として特許等の出願知財のみを知財と捉える意識が強く、非出願情報である固有機密情報の保護と事業商品活用がされていない。更に、文化発明についての保護活用も不足している。これらを踏まえ引き続き非出願知財の有用性研究、知財侵害行為等に対する法的措置の代表事例づくりと文化発明の保護活用活動を含めた『知財ブランドモデル実証研究・啓発』を継続する。

公1事業は、上記調査研究啓発を下記具体重点活動を中心に実施する。

- ・ 会員企業をモデルとした非出願知財マネジメントによる無形資産価値創造(ブランド創造)実証研究(研究期間5年程度)の継続。
- ・ 会員企業や知財先進国を対象とした知財マネジメント調査の継続。
- ・ 大阪大学等の大学研究機関との連携研究推進検討(大学知の保護活用等)。
- ・ 知財保管セキュリティー研究(知財預かりサービス:IPバンク関連)。
- ・ 春季知財経営研究会の開催(知財登録情報の有用性事例研究を含む)。
- ・ 秋季知財啓発シンポジウム(パラダイムシフト発想2023)の開催(Web)。
- ・ 文化発明及び文化財保護への知財登録応用研究の開始。
- ・ 商工会議所や地域パートナー等との連携による知財啓発セミナーの開催。

(2) 知財情報の登録保護活用事業(その他事業:他1)

- ・ 利便性の高い知財登録&預かりサービス(IPバンク)の開発と試行。

(3) 協会基盤強化のための活動

- ・ 知財システム開発等の資金獲得のための新しい取り組みに挑戦。
- ・ 地域の協力者(商工会議所等)の拡充並びに協力体制の構築。

(以上)